

湖北

1978 oct ⇨ No.2

明治学院大学自動車部OB会

目 次

OB 会長あいさつ	3
自動車部部長あいさつ	4
現状報告（現役）	7
OB 名簿	10
現役住所録	43

0. B 会長 あ い さ つ

5 2 年度 土 倉 弘

昭和 5 2 年末で日本国内での自動車の普及率は 2 世帯に 1 台と云われこれ以上は保有台数の増加は考えられないと云われています。

住宅地の玄関先を見るとまずほとんどの家庭には車の姿が見られる様になって生活の中に入って来ています。

今年の 3 月末の各企業の決算報告の中で目につくことはトヨタが新日鉄を利益面で追越して 1 位になった事だと思います。

又日本の市場、メーカーに対しては欧米の自動車メーカーの経営者が来日をして対日戦略を行動面に出しています。

これからも公害・省資源・顧客のニーズによって自動車のパターンも大きく変化をする様考えられます。

私個人の生活行動面では自動車通勤をし家族との買物食事をする時は道路状況・駐車スペース等を考えて動くことと思います。

自動車だけでは利用価値には欠けて周りの環境に大きく左右されることもあります。過日自動車の免許の期限を切らせて大いに不便を味いました。

札幌市の郊外の道路に「駐輦之場」と書いてある石碑が建っていて何年か前天皇が北海道来道をされ休まれた場所だそうです。

輦（レン）とは人夫が何人かで車を動かすと言う意味を考えると昔の方が何となくのんびりして良かったのではないかと思ったりします。

自動車部部長あいさつ

部長 高橋 賢 一

全関東の運転競技大会の成績の連絡がある。又々上位に入っている。まさかと思っていたことがまだ続いている。10年に一度くらいは優秀な学生がでるものだ。たまに1人くらいはでる。と思っていたが、こう何代も続くと考えてしまう。「成績の良い次の年の主将は大変だね。あまり責任を感じすぎないように無理しないことだね。それより事故を起こさないことの方が大切だよ。」という話をしたばかりなのに、女子も男子も成績が良いとは、なぜ、何が原因でと考えてしまう。特別に優秀な選手を入学させているわけではない。せまいところで、あまり程度の良くないくるまを整備しながら、全部自前でやっている。他の部にくらべて特別にめんどろをみてもらっているわけでもないのに、どうして良い成績が続くのだろうか。

くるまの好きな若者が多いのだから、もっと部員の数が増えても良いのにと思うのだが、相変わらず新入部員数は少ない。こんなに少ない人数で、よくまあ部員数の多い他の大学に対抗していけるものだと思う。

近頃の大学のスポーツは、何かの方法で優秀な選手を入学させ、グラウンドや体育館を整備して十分に練習できるようにし、本来個人で用意すべき服装や用具まで、大学が負担し、中には学費

免除、奨学金まで出して強いスポーツ、有名なスポーツをつくろうとする大学が現われる。こんな傾向の大学が多くなると、これとは反対に優れた選手を入学させる方法がない大学、グラウンドや体育館が整備されていない大学、服装や用具も自前でという大学、スポーツの選手を特別に扱わない大学の選手達のイヂケ方も異状である。

どうしてこんなにイヂケてまでスポーツをやらなくてはならないのだろうか。なぜ自前でやらないでめんどうをみてもらってスポーツしなくてはならないのだろうか。人にめんどうをみてもらわずに自前で堂々とスポーツする大学があってもよいのではないかと考えてしまう。

イヂケた運動部の多い中で、明治学院大学の自動車部の状況は本当にいじらしいほど立派だ。堂々としている。そして成績が良い。私は、部のために何も出来ないのに、いつも同じ理屈をいつづけている。特別めんどうをみてもらえないことや、部員の少ないのは良いことなのだ。部員が少なければ、この部車はどんなに苦勞して苦面して調達したのかみんなが知っているが、部員が多くなればこれを知らない者も多くなる。部車の調達の苦勞を知っているから部車を大切にする。くるまに愛情を持つ。部員の数が少ないから部車にふれる回数が多くなる。回数多くくるまにふれることは、運転がうまくなるための最大の条件だ。

大腦に運転技術を記憶させ優れた技能を発揮させるためには、大腦の同じ細胞をくりかえし回数多く、正確に刺激する以外に方

法がない。部員数が少ないことはくりかえし練習する回数が多くなる。技術の優れた先輩の方法、手順を見習って正確に同じ動作をくりかえし、脳の同じ細胞を刺激するから、優れた技能が修得できるという絶大なメリットがある。部員が多くてはこういうわけにはいかない。

中学、高校からつづけてできるスポーツの場合なら、中高でくりかえしたスポーツの一つずつの動作の練習回数の総計は大変な回数になるので、中高であまりくりかえしていない選手の場合、これに追いつく回数の練習をすることは絶望に近いということになる。

しかし、自動車の場合、日本の交通法規のある限り、大学に入ってからでも充分間に合う。ただ問題は部員が少ないとどうしても人数の多い大学の勢いに、心理的に押される。部員の少ないことにひけめを感じてしまう。私はこんな時に、1台のくるまにハンドルは一つだ。何十人部員がいても戦力にはならない1人がしっかりしているかどうかで勝ち負けが決るのだ部員の数など問題ではないと声をかけることにしている。

こんな屁みたいな理屈をいう教師しかいないのに、明治学院大学の自動車部は堂々と胸を張っている。自動車部は明治学院大学のスポーツの一つの方向を現わしているとさえ思う。

海外視察のために成田を出発する時間がきたので、今回はこれで終ることにします。留守中事故のないように頼みます。

自動車部の現状と問題点

我部は7月現在で1年7人(男6), 2年8人(男6), 3年2人(男0), 4年5人(男3)の計22人の少人数部となっている。

特に3年生は女子2人のため部員相互の団結がこれまで以上に必要となっている。

また少人数である上に上級生の人数が少ないということが役割分担を防げていない。

ここ数年、部員数が減少し、少人数が定着し、自動車部の運営もそれに合わせて少しずつかえなければいけないと、いわれつづけながら、まだ具体的な対応策のない今日である。

我部の人数が少ないということに合せて、今一つ問題となるのは資金の面である。

今年、学校からおりるクラブ費は47万円であるが、これは去年のガソリン代を例にとると60万円かかっているのに、ガス代にもならない。

この他試合の時の諸々の費用や車検代をどうしているかということと部員の毎月千円の部費とクラブの援助金として1人1万円程度を年2回集めたり、強制バイトや、OBの方からの援助金で何とかしているが、それでも足りず結局個人負担が多くなっている。

合宿のグラウンド代やガソリン代もほとんどクラブからお金を出せず、部員に割り合てるが、人数が少ないので、合宿費も相当な額になる。

今年のクラブ費47万円の行き先もガス代20万円の借金と前々からたまっている借金10万円とグローリア・エルフの車検をとると、もう何も残らない。

では何故クラブでバイトをして補わないかということになるが、バイトに人を割り合てると人数の関係上、クラブに残るものがないと、運営できないこと。女子のできるバイトがこないことや、あとで年間行事を紹介しますが、試合の数が多くなり、その準備に追われ、バイトどころではないということも大きな原因となっています。

しかしながら今年の1年生は白金、東村山高校生出身が多くまた、何事にも一生懸命やってくれる事が私たちの大きなささえとなっています。

それでは今年度の部活動と年間行事を紹介します。

3月14～21日	春合宿
3月15～17日	学連リーダースキャンプ
3月下旬～4月上旬	新入生勧誘とその準備
4月22・23日	新入生勧迎会
4月28・29日	春の育英募金
5月7～10日	全関ダートトライアル第一戦合宿
5月14日	全関ダートトライアル第一戦（於多摩サーキット）
5月22～24日	早朝ロック練習
5月25～6月3日	全関フィギア強化合宿
6月4日	全関フィギア大会
6月25日	ジムカーナ大会
6月27～7月16日	クラブOFFと強制バイト
7月17～7月22日	前期試験
7月23～8月1日	整備合宿
8月3・4日	整備大会（於名古屋）
9月1～10日	夏期総合合宿
9月25日	クラブ開始
10月1日～10月4日	全関ダートトライアル第二戦合宿
10月8日	全関ダートトライアル第二戦（於東金）
10月16～10月21日	五大戦通い合宿
10月22日	五大学新人戦
10月29日	第2回MGダートトライアル（於山中）
11月8日～11月17日	全日フィギュア強化合宿
11月19日	全日フィギュア大会（於福岡）
11月26日	全関ダートトライアル第三戦（所沢）
11月下旬	トレーニング納め クラブOFF
12月上旬	納会
12月中旬	全関杯受年 学連引継会
2月上旬	追い出しコンパ（多少の変更あり）

以上見ていただくとわかりますが、大きな行事はたいてい日曜にあるし、試合が近づくとずい分夜遅くまで整備をしたり、12月過ぎるまでほとんど休みなしであり、合宿が多いので合宿費が払えない、自分の時間が持てず、疲れるなどの悩みが生じ、またクラブを去るものもいます。

しかし、我々22人は何とかこの日程をこなし、先輩方の残してくれた我部の伝統を守り、試合においても必ず勝つ、つもりで女子は全関総合二連勝を、男子も優勝をめざし、一致団結しがんばります。

また自動車部の昼食のめんどうはアノ大久保だんご店を相変わらずひいきにしていますが、昔は歩いていったのですが、今は1年の大久保係が注文をとり、出前してもらっています。ちなみにお値段はカツ丼270円、玉丼200円、ラーメン200円です。先輩方の頃とどれ位上がったでしょうか。

またフランクも最近はあまりいかなくなり、今度、東門のとなりに喫茶店ができるのですが、そこが新しい溜り場となる予定？です。

最後に今後とも一生懸命やりますので、北グラへ気軽に遊びに来て我々をはげまして下さい。

編集後記

6月上旬より「湖北」の編集を開始致しましたが、予定よりハガキ等の回収の遅れにより、発刊が10月中旬になってしまいました。ここに「湖北」第2号を発刊する運びとなりました。

前号同様、ハガキの回収率は、50%弱で発刊する結果となってしまいましたので住所、会社名等がぬけていたり、不備な点が多く出てしまいました点をおわび致します。

「湖北」は2～3年に1回の周期で今後も発刊していきたいと考えておりますが、内容も序々に充実させ、バラエティーのあるものとしたいと考えておりますので、今後「湖北」に関しまして御意見、御希望又は企画等が御座居ましたら、ぜひとも下記まで御連絡下さいますようお願い申し上げます。

尚、今回の名簿上で空白の方々の住所、勤務先等を御存知の方がいらっしゃいましたら、あわせて御連絡下さいますようお願い致します。

連絡先：〒154 世田谷区新町 2-25-17-301

高 橋 良 次

TEL 03-425-9739

P.S 現在自動車部現役諸君が新しくTシャツとカーバッチを製作中です。OBの方々に御希望が御座いましたら下記の通り御申込下さい。

T	シ	ャ	ツ	¥	2,500	ナンバープレートをあしらった白いTシャツ(S.M.L)
カ	ー	バ	ッ	ヂ	¥	7,000
〃		(楯付)		¥	10,000	ゆりのマークの焼付高級バッチ

申込先：4年 兼 田 博 光

